

大阪府立出来島支援学校だより

できじマガジン

第5号

【ニュース：12月24日は、出来島支援学校の創立記念日です！】

府立学校には、どの学校にも創立記念日があります。出来島支援学校の創立記念日は、12月24日です。では、なぜ出来島支援学校の創立記念日は12月24日なのでしょう。できじマガジン第5号では、その理由を紹介したいと思います。

開校準備室だよりとして創刊した『できじマガジン』ですが、その第1号の最初の文章には、「大阪府立学校条例により令和6年1月1日付けで、出来島支援学校の開校準備室が西淀川支援学校内に立ち上がりました。」と書かれています。大阪府立出来島支援学校のスタートは、実は今学校がある西淀川区出来島3丁目3-6の地ではなく、西淀川区大和田2丁目5-77にある西淀川支援学校の2階、北西の小さな教室（パソコン室の1/3をアコーディオンカーテンで間仕切った一画）からだったんですね。

(開校準備室だよりはこちら→<https://www2.osaka-c.ed.jp/blog/dekijima-s/dekijimagazine/>)

あれ？上の説明では、出来島支援学校の創立記念日は、1月1日になるのでは？と思いますよね。条例上は、令和6年1月1日に立ち上がった出来島支援学校ですが、その準備室を開設する準備がもちろん必要だったわけです。令和5年12月、西淀川支援学校前の淀川通り沿いには、西淀川区の花である山茶花(さざんか)がきれいに咲いていました。数日かけて、準備室業務ができる状態にまで整えられました。でも、まだこれで準備が完全に整ったわけではありません。西淀川支援学校内にできた出来島支援学校準備室は、この地にとっては新参者であるわけです。そこで、準備室の代表として、その当時は準備室担当参事だった武田校長先生が、地域を守る神さまである『白天宮』と『大和田住吉神社』へ出来島支援学校準備室開設のご報告にお参りに行きました。そう！そのお参りに行った日が、令和5年12月24日だったんですよ。



【校長だより】

出来島支援学校の創立記念日のいわれとなった2つのお宮ですが、令和6年9月30日に行われた後期始業式のわたくしからの話の中で、児童生徒のみなさんに『白天宮』を紹介しています。出来島地域を守る神さまがいる神社があるということを説明したのですが、実際に行ってみました！という学年もいくつかあったようです。(10/18 学校ブログも見てみてください→<https://www2.osaka-c.ed.jp/blog/dekijima-s/gakko/2024/10/18-267777.html>)



白天宮の入り口には、今年の干支(辰年)である白龍の像があるのですが、実は、白天宮に祀られているのは「巳さま」、つまりへびなんです。来年、令和7年(2025年)の干支は巳年ですね。そう、出来島地域由来の神さまの年なわけです。これは、ますます出来島支援学校が、そしてそこで教育活動を展開している児童生徒のみなさんが、教職員が発展していかないわけにはいかない、ということなんです。みなさん、機会があったら、お参りしてみてください。

